

菅内閣發足して重點課題の一つとして、デジタル化あり、平井卓也デジタル改革擔當大臣任命せらる。コロナ問題發生以來政府の施策、行政のデジタル化不十分による頓挫相繼ぎたりければ、其の必要性今や國民的合意なるらむ。擔當大臣以下の任務遂行刮目して見るべし。

されど電子化の後れを取返さむとて、一舉に最先端、最大規模の電算系を實現せむとするを眞の懸念とす。超大型電算機「富嶽」は慥かに世界一の性能を有すと雖も、之を有効利用するは専門技術者に限られ、一般者の關與は皆無なればこそ不正の運用を免かるれ。然るに行政電算系は謂はば電算知識殆どなき一般者の使用も不可避なれば、先づ十二桁の個人番號の正確なる入力すら不安ならずや。さればとて四桁の暗證番號等にては同じ番號多く誤操作の因なり。稅務當局はこの個人番號と銀行口座番號の直接連結を期待すらむも、この「紐附け」は稅務署員のみならず、國民一人一人が行ふ以上其の意味と危険性の周知が十分圓滑に行はるゝなむ疑問なる。その點歐米、特に米國等にては早くより個人番號制の導入ありて、電算機の發達と共に次第に高度の電網系を構成するに至る。未だ電算機誕生間もなき頃、個人番號を定め謂はば手作業の運營を経て、最新の電算技術を順次取入れて今日あるを思ふべきなり。

一方我國の戸籍制度は天智天皇九年 かうじねんじやく 庚午年籍かうじねんじやく 以來の歴史あり、明治維新後今日の全國的戸籍制度發足す。生を享くれば戸籍に其の名を登録す。手書きなれば同じ漢字の字形もまち柿鉤、しかもなほ實際生活には何の支障も生ぜざりしが、電算化に向けこれら各種の異體字を公認せざるを得ず、今日電網上に登録可能の漢字は六萬字を數ふるも、其の多くをこれら異體字が占むと云々。又契約書等重要書類は己れの捺したる印鑑にて有効とせられ今日に至るも、初期には連帶保證人の意味不明の儘承諾の捺印し、後日財産を失ふ者跡を絶たざりけりと云々。更に今日銀行の業務漸く全面的に電子化せられけるも、詐欺による高額の預金詐取相次ぎ、預金者の財産喪失のみならず、結果として犯人ら反社會的勢力への資金提供となるを懼る。更に之を電視にて仔細に見るに、最重要の暗證番號をいとも簡單に盜まるゝ事例極めて多し。暗證番號は金庫の鍵の如し、絶対に他人に知らるべからずと教ふるは、社會の根源的責務なりと今更の如く痛感するも、電腦畫面にては「暗證番號御忘れの場合は然々しかしかの手續を」と案内す。かゝる實情を考ふれば、先づ義務教育にて暗證番號の重要性や入力の方を習ひ始めて、高校にては電算機の基本機能や半導體の性質を學び、大學にては文科系にても算法や暗號等情報理論の學習を義務付ける等、高度電網社會への入り口の整備

に、今の小學生より始めて二十年近くを見るべきなり。されば行政實務の全面電算化は、この二十年をいきなり全國一系とせず、基本系は共通とするも、各都道府縣個別の電算化による試行期間とすべきにあらずや。

更に問題は國の安全保障にも關はる國民の個人情報保護にあり。一億人の個人情報が一瞬にして國外に持ち逃げといふ最惡の事態を如何に防ぐか、未だにガラ系の吾には論及する能はざるも、かゝる「ビッグデータ」は世界の電腦<sup>ハッカー</sup>侵害者に狙はれるの自覺は最低限必要と痛感す。くれ<sup>ハッカー</sup>も拙速に過ぎて大禍を招く事の無きを祈るのみ。

(令和二年十月二十七日)